

(様式1)

個別施策評価調書

主管部	市民部	
関係部	-	-

基本施策	I-4 共生のまちづくりを推進する
個別施策	② 男女共同参画社会の推進
個別施策の方向	すべての市民が性別にかかわらず尊重しあい、また自らの意思により、社会のあらゆる分野に参画する機会を確保することにより、男女が均等に利益を享受し、ともに責任を担う男女共同参画社会づくりを目指す。

決算及び事業費内訳 (単位：千円)											
H27年度	決算	事業費	7,492	人件費	10,355	事業コスト	17,847				
	事業費内訳	国庫支出金	0	県支出金	0	地方債	0	その他特財	0	一般財源	7,492
H28年度	決算	事業費	7,259	人件費	8,725	事業コスト	15,984				
	事業費内訳	国庫支出金	0	県支出金	0	地方債	0	その他特財	0	一般財源	7,259
H29年度	決算	事業費	7,622	人件費	9,023	事業コスト	16,645				
	事業費内訳	国庫支出金	0	県支出金	0	地方債	0	その他特財	0	一般財源	7,622

市民満足度 (市民意識調査)	H27年度	H29年度	前回比
つくば市の現状やまちづくりへの取組について	23.5%	25.1%	1.6%
19) 男女共同参画			

平成28年度つくば市行政経営懇談会 評価結果		
総合評価	B	施策の成果が一部確認でき、今後更に推進させるべきである。
提言	つくばは、科学などの分野が強調されているが、男女共同参画という面を強調すべきと考える。また、各種目標値を今以上に高く掲げ、チャレンジすべきと考える。	

取組概要	<p>男女共同参画社会の実現に向け、ワークライフバランスや女性活躍推進などに関するセミナーや、著名人による基調講演や男女共同参画を推進している活動団体と市民との交流の場となる「男女共同参画会議」を開催し、啓発活動を実施した。</p> <p>また、生き方や家庭、人間関係などの悩みを抱えた方に対し、「女性のための相談室」事業を実施した。</p>
成果	<p>セミナーは、年15回程度実施し、各回30人程度、合計1,524人（男性211人、女性1,213人、子供100人）の参加があった。また、年1回、つくばカピオで開催している男女共同参画会議には、合計841人の参加があった。それぞれの事業実施後のアンケートでは、9割以上が「よかった」と回答しており、参加者の満足度は高く、多くの市民に男女共同参画について啓発することができた。</p> <p>また、「女性のための相談室」には、延べ1,743件の相談があり、必要な情報提供や社会資源の紹介、アドバイスをを行った。</p>
今後の課題	<p>セミナーの参加割合を見ると、女性が多数を占めている状況にあり、男女共同参画社会づくりには、男性の参加が必須である。</p>
改善目標	<p>男性のセミナー参加者を増やすため、開催日時や内容について検討する。</p> <p>また、セミナー参加者数については、つくば市男女共同参画推進基本計画（2018～2022）において、一年間に男性100人、女性500人を目標として掲げている。施策については、毎年度、つくば市男女共同参画審議会からの評価をもとに、施策内容の見直しを行い、推進していく。</p>

自己評価（所管部署評価）

自己評価記述	<p>近年、国においては、女性活躍推進法の施行や働き方改革など、男女共同参画社会を実現することは、社会全体で取り組むべき最重要課題として位置付け、その推進を図っているところである。</p> <p>市としても、セミナーやイベント等の啓発活動や相談事業の充実に努めている。しかし、「男女共同参画に関する市民意識調査」（平成28年実施）の結果では、「男性が優遇されている」という意識が依然として強く残る結果となっている。</p> <p>男女共同参画社会は、法律や制度だけでなく、社会・経済状況に応じた個人の意識や価値観が整ったときに実現するものと考えられるため、長い時間をかけて、啓発事業や相談事業を地道に継続していく必要がある。</p>
--------	--